

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-296582

(P2005-296582A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005.10.27)

(51) Int.Cl.⁷

A63B 53/04

A63B 53/06

F I

A63B 53/04

A63B 53/06

H

D

テーマコード (参考)

2C002

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2004-147005 (P2004-147005)

(22) 出願日 平成16年4月15日 (2004.4.15)

(71) 出願人 395013201

片桐 史郎

東京都葛飾区亀有4-14-5-206

(72) 発明者 片桐 史郎

東京都葛飾区亀有4-14-5-206

Fターム(参考) 2C002 AA04 CH03 LL01 LL04

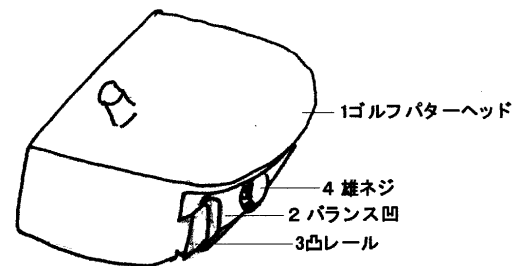
(54) 【発明の名称】 スライド式バランス器具付ゴルフパターヘッド

(57) 【要約】

【課題】 特にアマチュアゴルファーなどは、一定の技術が身についてなく、毎日感覚が違うものである。そこでその日の体調に合わせ、ゴルフパターヘッドに付いているスライド式バランスを、好みの場所に自由にスライド移動させ使用することで、本来の感覚でパターのストロークが出来る。

【解決手段】 ゴルフパターヘッド(1)の一部に凸レール(3)を設け、その一部に何ヶ所かの雌ネジ(4)を設け、そのレールの上にバランス凹(2)を設け、これの一部に雄ネジ(4)を設けたもの。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴルフパターヘッド(1)の一部に凸レール(3)を設け、これの一部に何ヶ所か雌ネジ(5)を設け、そのレールの上にバランス凹(2)を設け、これの一部に雄ネジ(4)を設けたスライド式バランス器具付ゴルフパターヘッド。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

この発明は、ゴルフパターヘッドの一部にスライド式バランス器具を設けたゴルフパターヘッドに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来ゴルフパターヘッドの至る所にバランスは固定して埋めこんであった。

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

これはつぎのような欠点があった。

(イ)誰もが本来パターの持つ特性に合わせて利用しなくてはならず、自分自信の感性・癖などを生かすことが出来なかった。

20

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

ゴルフパターヘッド(1)の一部に凸レール(3)を設け、その一部に何ヶ所か雌ネジを設け、そのレールの上にバランス凹(2)を設け、これの一部に雄ネジ(4)を設ける。

【発明を実施するための最良の形態】

【0005】

雄ネジ(4)を緩め、バランス凹(2)を好みの位置にスライドさせて、雄ネジ(4)を締めて利用する。

【実施例】

30

【0006】

以下、発明の実施例について説明する。

(イ)ゴルフパターヘッド(1)の一部に凸レール(3)を設け、その一部に何ヶ所か雌ネジを設け、そのレールの上にバランス凹(2)を設ける。

(ロ)バランス凹(2)の一部に雄ネジ(4)を設ける。

【発明の効果】

【0007】

本発明は以上のような構造で、これを使用するときは、雄ネジ(4)を緩め、バランス凹(2)を好みの位置にスライド移動させ、雄ネジ(4)を締めて使用する。その日の体調に合わせて使用することができる。仮に練習グリーンで、パターを打つ時、やたらとひっかけたり、押し出したりした時に、微妙に調整して使用すると、今現在の自分のストロークで楽しくプレー出来るものと信じる。

40

なお図3、図4のような方法でも本発明の目的は果たせる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

【図2】 本発明の断面図である。

【図3】 本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【図4】 本発明の他の実施例を示す断面図である。

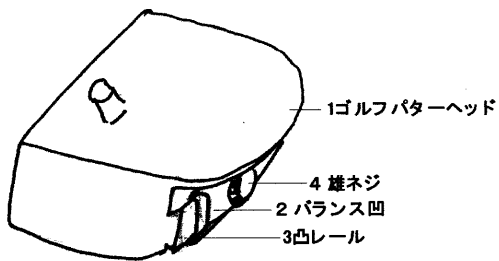
【符号の説明】

1 ゴルフパターヘッド 2 バランス凹

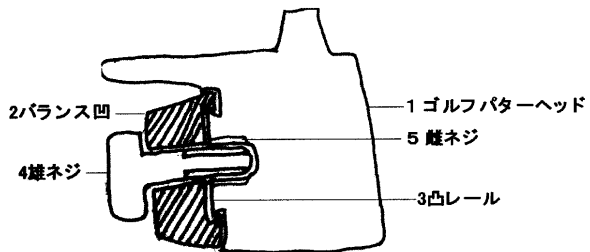
50

- 3 凸レール 4 雄ネジ
 5 雌ネジ 6 バランスつまみ
 7 パネ 8 蓋 9 板
 10 ゴルフパターヘッド

【図1】

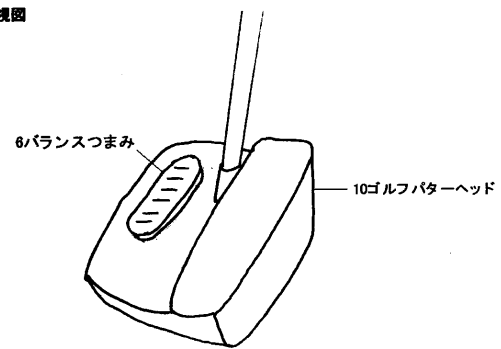


【図2】



【図3】

斜視図



【図4】

断面図

